

テーマ：地域のニーズに対応した支援活動

講師：長崎大学地方創生推進本部 石松隆和氏

H29.08.03 PM19:00-20:30 ハートセンター5階パソコン室

講師:1名 参加者:6名 NPO:4名 計:11名

【内容】



今回のテーマは、「地域のニーズに対応した支援活動」と題し、国立大学法人長崎大学 元工学部教授 石松隆和氏が講師で、どのようなオーダーメイドの補助支援機器を作り、提供までの実体験の話をお伺いしました。

様々なその人の症状や生活のニーズに合わせたオーダーメイドの工夫された補助支援システムが紹介されました。

実生活の導線をつなぐ支援機器の作成は今後の課題で、IoTと電子器機との関係はより深くつながらないと、周りも安心できるひとりで生活の支援体制は難しいとつくづく感じ、イメージした生活

を作ってお下され、支援するグループ作りが今後のカギと感じました。

【アンケート回答】

A.内容に対する感想の度合 6/6 回答

大変参考になった3件 参考になった3件

B. 参考になった点や判りにくい点などの感想

- とても良かったです。
- 在宅の方への福祉機器を作った支援について、知る事が出来ました。
- 先生のようなご経験をお聞きでき、福祉機器がQOLを向上し、人の幸福感を高めていくことを改めて感じました。
- 音楽が好きな方で機械の操作が出来ない方がいるので、いくつかスイッチがあって対応した音楽が流れるのはとても良いなあと思いました。
- センサーと switch の仕組みが良く分かりました。
- iPad をボタンで動かす方法を具体的に見たり聞いたりしたいと思いました。

C.現在問題抱えている問題点

- 認知症の方とのコミュニケーションが取りにくいですが、何かありませんか？
- 障害児の LifeStage に応じた支援。(特にコミュニケーション等) 特に発達障害児

D. 開催に対し、改善・希望内容

- 石松先生のお話を楽しみにしています。
- 総合的観点から見た障害児の LifeStage に応じた支援。

E.NPOへ問合せ・希望など

これからもよろしくお願ひします。

今のままで結構です。

ありがとうございました。

G.職種分野

福祉 3名 教育 3名

H.職種 所属・資格等

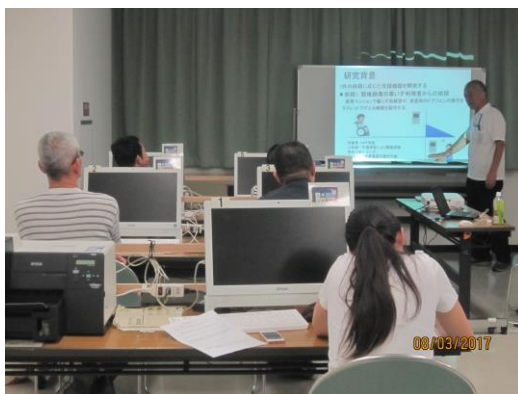
介護福祉士 1名

教諭 特別支援学校 2名

特別支援学校 事務職 1名

生活支援員 1名

ディサービス職員でダウン症の親 1名



I.開催の情報の入手の媒体

お知らせメール 2件 知合い・職場 4件

J.今後の興味（複数回答あり）

1.福祉 3件（介護 1件 情報支援 1件 e-Atc1件） 教育 1件 暮らし 1件（心理 1件）

福祉情報支援セミナー事業

《福祉情報支援（e-A t c）研修会コース》